

黒沢野林道をしばらく行くと、延暦十六年（七九七）征夷大將軍に任命された坂上田村麻呂が東征の際、試し切りをしたと伝えられている石がある。原っぱの中に長さ四メートル、幅二メートル



ザックリ割れた「田村將軍試し切りの石」

ほどの巨石が背中をのぞかせている。この石の四分の一ほどのところがあたかも刃物で切られたかのように、ほぼ直線にザックリと割れているところから「田村將軍試し切りの石」と言われている。